

ふれあい情報

2017年 10月5日(木) 第264号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 菅井義夫
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

連合が第15回定期大会開く

神津連合会長

推薦候補者全員の勝利に向け決意を表明



▲総選挙必勝に向け意思統一がはかられた連合第15回定期大会

大会には代議員や役員、傍聴など約2000人が出席。また国際来賓として国際労働組合総連合（ITUC）のシャラン・パロウ書記長をはじめ21の国・地域、3つの国際組織から38人が参加して開かれました。退職者連合の人見一夫会長は、元連合会長代行として顧問の立場にもありますが、大会では来賓として登壇し、紹介を受けました。



神津連合会長

一人でも多くの仲間と投票に行こう

「次の飛躍へ 確かな一歩を」とスローガンに連合は、10月4日～5日の両日、都内・千代田区の東京国際フォーラムを会場に第15回定期大会を開きました。大会には退職者連合から人見一夫会長が来賓として登壇し、会員23人が傍聴参加しました。9月28日招集された臨時国会の冒頭に安倍総理が衆議院を解散する暴挙に出るという緊迫した政治状況の中での開催とあって、主催者あいさつに立った神津里季生連合会長は、解散総選挙について「連合推薦候補者の勝利に向け、全力をあげることを確認したい」と表明。大会に参加した退職者連合の菅井義夫事務局長は、神津会長の決意表明を受け「現退一致で連合としっかり連携し、退職者連合推薦候補者全員の勝利に向けて奮闘していく」との決意を明らかにしました。

菅井事務局長 「現退一致、連合としっかり連携して総選挙を闘い抜こう」

◇神津会長の総選挙を闘うにあたってのあいさつ要旨抜粋は左記の通りです。



▲来賓として壇上に並ぶ人見会長

野党による臨時国会の開会要求を無視し続けた挙句の冒頭解散であり、森友・加計問題などの疑惑を隠すための“大義なき、究極の自己都合解散”だ。しかも野党側の体制が整っていない現状の弱みを狙ったものだ。強行姿勢だけが目立ち、聞く耳を持たない安倍政権の性格に、多くの国民が「取り返しのでない危機の淵に追いやられているのでは」という不安を抱えている。しかし今回の総選挙は、政権与党の数の力を背景とした強権的な国会運営から転換をは

かる千載一遇のチャンスだ。与野党の勢力が拮抗し、緊張感ある、互いに政策で切磋琢磨する政治体制を確立しなければならぬ。（民進党の紆余曲折の動きについて）一強政治に終止符を打つことは共通だ。その思いに向かつて収斂していくとき、名実共に闘いの姿が整う。連合は政策・理念を共有する連合推薦候補者、地道な取り組みを重ねる同志の勝利に向け、全力を挙げることを確認したい。一人でも多くの仲間の投票行動につなげよう」

いきいきと生きがいのある暮らしづくりへ

北海道 栃木、神奈川、沖縄

女性会員の加入拡大と活動への参加に向けた取り組み始まる

全国の地方退職者連合で女性会員の加入拡大や活動参加に向けて取り組みが始まりました。北海道や神奈川では男女平等参画推進委員会が設置され、沖縄と神奈川では女性会員を対象にアンケート調査を実施しています。また北海道、栃木、神奈川では女性会員に参加を呼びかけて学習会や研修会を開いています。さらに2016年度政策・制度要求での自治体要請では、10 地方退職者連合が「低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度の要求」を県や市に出し、8 地方退職者連合が回答を得ました。地方退職者連合でこうした取り組みは「行動する退職者連合」の一環であり、退職者連合本部では、多くの地方退職者連合がこうした動きに連動して、女性会員の加入拡大と活動参加に取り組んでいくことに期待を寄せています。栃木と神奈川、沖縄の取り組みを紹介します。



▲山田さん(写真円内)の報告に熱心に聴き入る研修会の参加者のみなさん(9月29日、宇都宮市内)。

女性運営委員が中心 になって企画 (栃木)

宇都宮市内にある「とちぎ福祉プラザ」で9月29日(金) 13時30分から栃木県退職者連合(三浦健治会長、会員10,000人)主催で「女性研修会」が開かれ、女性会員を中心に30人が参加しました。

あいさつで三浦会長は、初

めに「栃木退連は女性が少くないが、開催にあたって女性のみなさんが中心に企画してくれた」と女性運営委員にねぎらいの言葉をかけました。続いて「低所得高齢単身女性問題を退職者連合が発掘し表面化させた。これは、女性だけの問題ではない。背景に女性の平均寿命の長さ、賃金格差、年金問題などいろいろある。今日は詳しい要求内容、国に

め「栃木退連は女性の取り組み状況、合わせて栃木の実態・取組み状況を学習したい」と開催のねらいを述べました。研修では「低所得高齢単身女性問題について」と題して、退職者連合本部の野田那智子副事務局長が、女性に関する単身世帯の現状、低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求の取り組みなどを報告し、述べて、女性参画の重要性を強調しました。

女性会員を対象にアンケート実施 (神奈川、沖縄)

神奈川シニア連合と沖縄退職者連合に参加している沖縄県職退職者会女性部は、傘下の女性会員を対象にアンケートを実施しました。神奈川では4月に「女性会員の参加と連帯を促進し、男女平等の社会づくりをはかると共に会員の拡大を

自治体要請に「低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度の要求」を盛り込もう

ホームページは退職者連合で検索を

退職者連合

検索